

市政を問う!!

質問者

- 平間 正治
- 永井 泰仁
- 山口 恵子
- 小澤 彰一
- 西條 富雄
- 古畑 秀夫
- 村田 茂之
- 柴田 博
- 中野 重則
- 篠原 敏宏
- 中村 努
- 横沢 英一

(質問順)

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

新体育館 建設を問う



◆スポーツ推進計画の中核に

問 長い期間の議論を経て市長、議会共に結論の判断に窮し、賛否を問うため覚悟をもったアンケートにより決することとなった。最終判断である事は周知され、回収率は低かったものの、回答を寄せていただいた市民の気持ちを推察すると、僅差ではあっても結果は重く、覆す程の理由は見いだせない。スポーツ推進計画の中核となるような施設として整備すべきだが、市長の考えはどうか。(中村)

答 決断する時期に来ている。スピード感を持って完成させたい。新体育館は地方創生の



現 市立体育館

キーワードになるような宿命を持っている。

◆大学との連携を

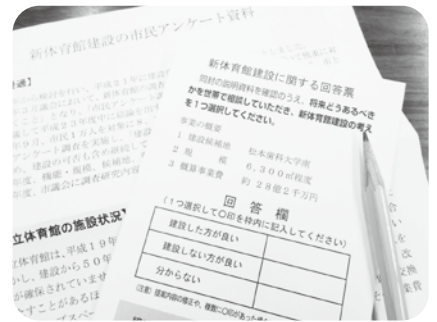
問 現体育館は利用面からも課題多く、今後どの位使用可能か。また新たに建設する場合、近接する松本歯科大学と連携しスポーツ施設や健康づくりセンター活用で付加価値も生まれるが考えは。(横沢)

答 耐用年数は20年程度。隣接する松本歯科大学との連携については、ソフト・ハード面を含め協議していきたい。

◆市財政への影響は

問 反対意見が44%あったが市民の理解をどのように得ていくか。(古畑)

答 スポーツ施設だけの機能ではなく、造って良かったと多くの市民が思える施設にしていく。市財政は新体育館建設後も健全性を維持できるも



アンケート用紙

のと見込んでいる。

◆建設の判断基準

問 アンケート結果の捉え方は。(平間)

答 建設する場合の機能、規模、候補地、費用等を示した上で最終判断を求めたもの。したがって、賛否はきつこうしたが賛成が上回ったことは事実であり、判断する大切な要因となる。

◆建設費の上限は。(平間)

答 アンケート時に示した28億2千万円を上限としたい。

◆財源と維持費は

問 新体育館を整備するとしても既設体育館の補修は必要になる。新旧合わせて必要な予算と維持費の合計はどうか。(柴田)

答 現体育館の補修については今後検討する。維持費については新体育館6千800万円、



開発誘導エリアの松本歯科大学南地域